

外部講師の先生をお招きして

生き方教室(いのちの教育)を実施しました



先週と先々週にかけて、外部講師の先生をお招きし、生き方教室を実施しました。生徒の感想と一緒に、授業の内容をご紹介します。

2学年 「知ってほしい性の話」:さとこ女性クリニック 井上聡子先生

男女の心身の発達やジェンダーについてなど、性についてさまざまな視点から語りかけてくださいました。生徒たちからは、月経コントロールや避妊・デートDVなどについて印象に残ったとの感想が多かったです。多様性を大切にして生きてほしいという先生のメッセージも心に残ったようです。



《生徒の感想から》

講話を聞いて、女子のことも知って、気にかけることの大切さを知りました。自立とは独立でなく、依存先を増やすことだという言葉がとても心に残りました。

私が1番心に残ったことは、LGBTQ+についてです。世の中にはいろいろな人がいて、みんな違うからこそ持続可能な社会になっていくのだと知って、多様性を尊重できる人間になりたいと思いました。自分らしく生きられる社会を私達が作っていきたいです。

1学年 「思春期のからだと心〜自分をもっと知ってみよう〜」:MOTHER design わだゆきこ先生

《生徒の感想から》

思春期における心の変化では、イライラする、1人になりたいけれど1人だと不安に思う、特定の誰かが気になるなどの気持ちは思春期特有のものだと教えてもらいました。また、カードを使ったワークを通して、自分と他者の考え方や価値観には違いがあることを学びました。



授業を受けて、人生を時計で表したときに、自分たちはまだ朝の4時にいると聞いて、まだまだ時間はあるんだと感じました。また、先生の話聞いて、歳をとってからでも変われると知って、自分の進路で焦る必要はないのだとわかりました。



カードゲームをしたときに、カードを捨てる理由を考えたり、どのカードを選ぶか迷ったりしました。やっぱり、自分が生きていく中で大切にしたいことはたくさんあるんだと感じました。



女子生徒のみなさんとおうちのかたへ

学校のトイレに生理用ナプキンを設置します(山形県助産師会の事業です)



生理の貧困が社会問題となっています。井上聡子先生より、県助産師会が実施している「学校のトイレにナプキン設置」事業をご紹介いただき、大富中学校でも女子トイレ個室にナプキンを設置することとしました。ナプキンは県の予算が続く限り無償で提供いただけますので、女子生徒のみなさんどうぞ活用してください。

準備ができ次第になりますので、それまでは必要な生徒は保健室までお声がけください。

新型コロナウイルス感染症対応について(お願い)

県でも、「まん延防止等重点措置」が発令されており、日々増える感染者の状況に心配が尽きない日々です。他市町村では休校措置をとっているところもあり、東根市も今後の状況が心配されます。

部活動の停止、授業内容の制限など生徒のみなさんには我慢をさせていることがたくさんありますが、基本的な感染対策についてももう一度気を引き締めて取り組んでいただくようお願いいたします。



手を洗おう



消毒しよう



うがいしよう



マスクしよう



換気しよう



うちで過ごそう

マスクの着用

感染予防効果を考え、可能なかぎり「**不織布マスク**」での登校をお願いいたします。

手洗い・消毒

行動とセットと考えましょう。1 行動につき 1 手洗い。お互いに声をかけあいましょう。

ゼロ密

密閉・密集・密接のすべてを避けましょう。

健康観察の徹底

登校前の健康観察の再徹底を。体調に変化がみられる場合には休養し、医療機関を受診しましょう。登校後の体調不良についても、状況によっては熱がなくてもお迎えをお願いする場合がありますのでご了承ください。

また家族に体調不良者がいる場合も柔軟にご対応願います。